

20

YEARS
ANNIVERSARY

CAN私立大学コンソーシアム20周年に寄せて

CAN私立大学コンソーシアムとは

“できることをできるところから (CAN:キャン)”

をキャッチフレーズに中部大学、愛知学院大学、南山大学の3校によって結成された図書館活動のコンソーシアムです。

今年、20周年を迎えることができ、3校の図書館長よりお祝いの言葉をいただきました。(CANの文字の色はスクールカラーです。)



CANマスコットキャラクター
キャンちゃん

中部大学附属三浦記念図書館
図書館長 足達義則

CAN私立大学コンソーシアム20周年、誠におめでとうございます。CAN活動のきっかけは、東海地区での集まりの雑談から始まったと伺っています。人と人が顔を突き合わせて、雑談することがままならない時代になりましたが、1つの大学で全てを揃えることが容易でなくなった現代、CANにおける活動がますます発展し、それぞれの大学の強みや特徴を生かした取り組みが進み、CANの必要性・重要性がますます高まることを祈念しております。

愛知学院大学図書館情報センター
館長 松蘭 斉

CANの活動については、多大の恩恵を被っている一人として、これからもその活動が継続・発展していくことを望んでやまない。それぞれ違った個性をもった大学だからこそ、蔵書にも個性があり、自分の所属する図書館ではなかなか購入されない書籍がCANを通じて容易く入手でき、このコロナ禍において特にその役割が大きくなっていると思う。図書館という、大学の機能の中核的な機関の一つを通じて協力し、またそれぞれの違いを確かめられることも極めて意義のあるものであろう。

南山大学図書館 図書館長 山田 望

CAN私立大学コンソーシアムが発足して20年を迎えたとのこと、心からお祝い申し上げます。コンソーシアム価格による電子ジャーナルの共同購入からはじまった異なる大学図書館の連携活動が、途中頓挫・解消することなく、多方面の連携へと発展していったことに、大変励まされる思いが致します。コロナ禍による自粛で人間関係の分断、分離が加速する中、横のつながりを深めていくコンソーシアムの発想が求められています。是非ともますます機能を充実させ、「できるところから」はじめることで、「これほどのことができる」のだということを知らしめていって欲しいと心から願っています。